

第81期
中間報告書

(平成28年3月1日から
平成28年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第81期上半期(第2四半期連結累計期間：平成28年3月1日から平成28年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成28年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米
国が底堅い個人消費を下支えに緩やかな成長を続けま
したが、英国のEU離脱問題や中国及び新興国経済の
減速などで力強さを欠きました。

日本経済は、住宅投資と公共投資が回復基調となり
ましたが、不安定な世界経済に起因した円高などによ
り、製造業の生産活動が弱く足踏みする結果となりま
した。

このような状況下にあって、当第2四半期連結累計
期間における売上高は、3,574億74百万円で前年同期
比12.4%の減収となりました。

損益につきましては、売上総利益が250億24百万円
(前年同期比9.2%減)、営業利益が60億3百万円(前
年同期比32.3%減)、経常利益が83億30百万円(前年
同期比26.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利
益は54億86百万円(前年同期比29.4%減)となりま
した。

中間配当金につきましては、1株あたり85円とし、
支払開始日を10月31日とさせていただきます。

通期(平成28年度)の見通し

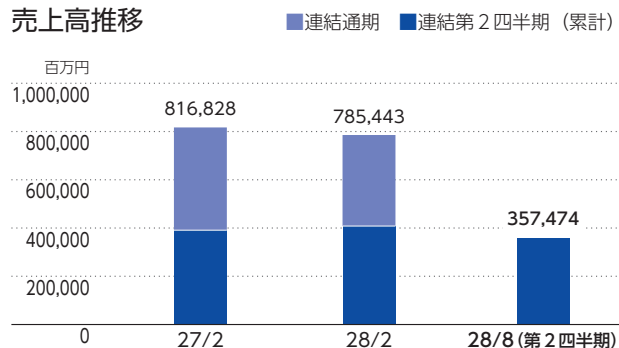
通期の業績予想につきましては、売上高は7,500億
円を予想しております。

経常利益は180億円、親会社株主に帰属する当期純
利益は120億円を予想しております。

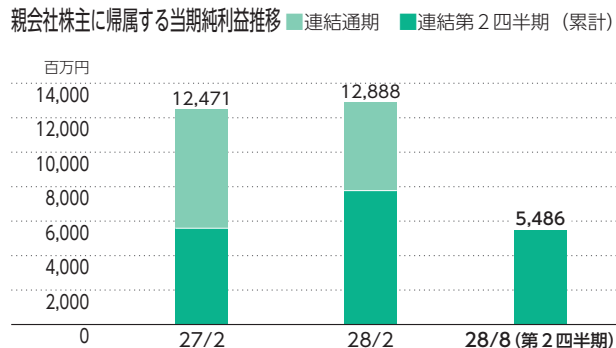
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を
賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

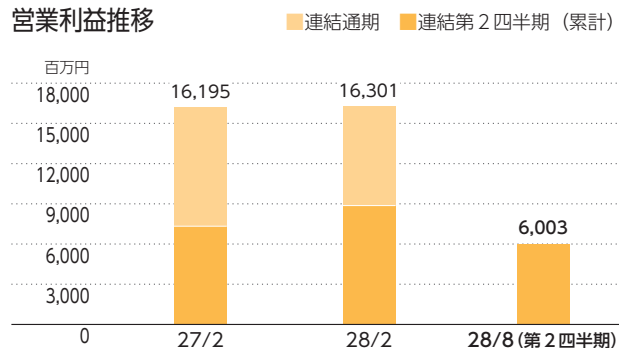
売上高推移



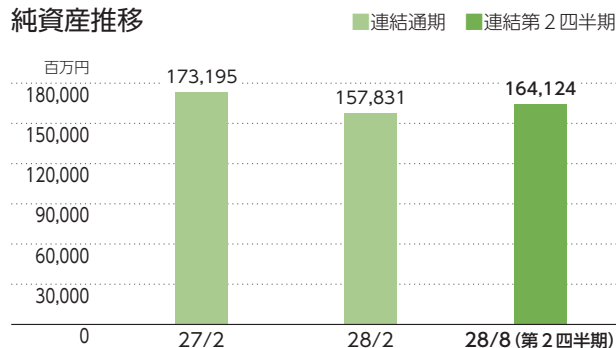
親会社株主に帰属する当期純利益推移



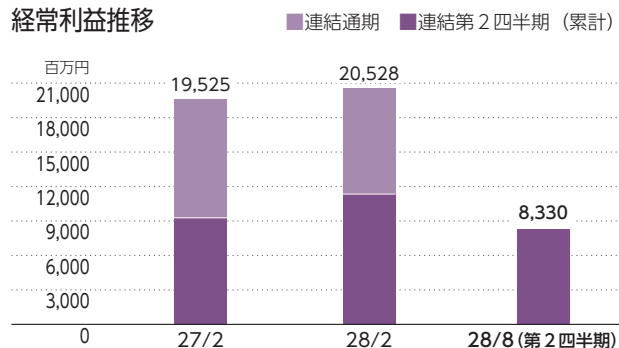
営業利益推移



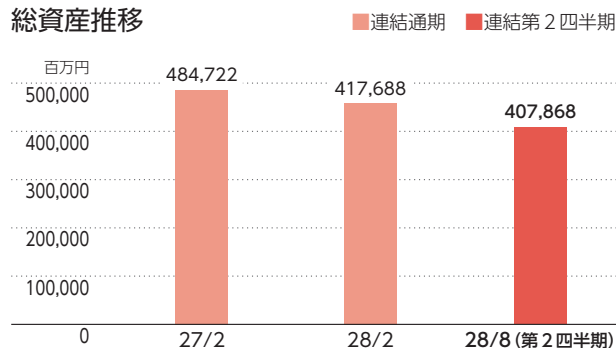
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. 中期計画《Gih-2020》について

2016年度を初年度とする中期計画《Gih-2020》を策定しました。G(Global)、I(Innovation)、H(Human resource)を柱に、2020年度に向けて取り組みます。G：世界市場で地域に根ざした「ものづくり」に貢献すべくグループ総合力を発揮します。

I：時代の変化に向き合い、先端商品・技術の取扱い拡大に挑戦し続けます。

H：企業活動を支える社員一人一人が、成長を実感できる人材育成を行います。

2. インドネシア岡谷鋼機会社 スラバヤ事務所開設について

インドネシア岡谷鋼機会社は、平成28年4月にスラバヤ事務所を開設しました。インドネシア第2の都市であるスラバヤ市を拠点として地域に密着した営業活動を行い、今後の取引拡大を目指します。



スラバヤ事務所の入居ビル

3. 米国岡谷鋼機会社 インディアナポリス事務所開設について

米国岡谷鋼機会社は、レキシントン支店傘下で7拠点目となるインディアナポリス事務所を平成28年4月に開設しました。自動車産業の集積地であるインディアナポリス市を拠点として地域に密着した営業活動を行い、今後の取引拡大を目指します。



インディアナポリス事務所の入居ビル

4. 中国鋳物製造会社の設立について

虹技株式会社との合併で、自動車用プレス金型鋳物の製造・販売を行う南通虹岡鋳鋼有限公司を平成28年6月に設立しました。事業開始は平成29年6月を予定しています。

5. 上海岡谷鋼機有限公司 蘇州支店の営業開始について

上海岡谷鋼機有限公司は、平成25年3月に開設しました蘇州事務所を、平成28年7月に蘇州支店として営業を開始しました。



蘇州支店の入居ビル

6. マキシマファーム株式会社 トマト生産開始について

マキシマファーム株式会社は、オランダ式水耕栽培技術を取り入れたトマト生産を、平成28年7月より開始しました。



7. 平成28年熊本地震への義援金寄付

平成28年4月に熊本県と大分県で相次いで発生した地震による被災者の方々に対し、義援金の寄付と飲料水の寄贈を行いました。

8. チャリティーコンサート開催について

社会貢献活動の一環として、昨年に引き続き、愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて「OKAYA CHARITY CONCERT 2016～感謝の夕べ～」を平成28年7月29日に開催しました。

多くの皆様にご賛同いただき、チケット売上金と当社からのマッチングギフト、また、皆様からお預かりしました募金を合わせ、合計385万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。



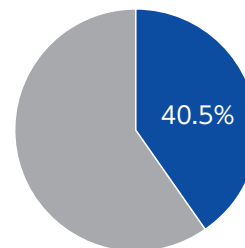
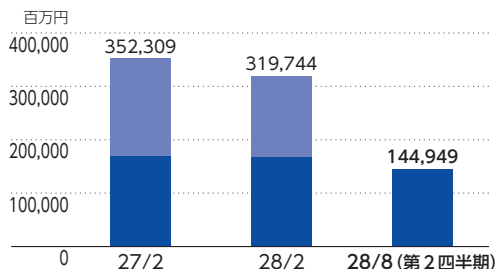
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



鉄鋼部門は、内需の伸び悩みに加え、鋼材価格の低迷により低調でした。特殊鋼部門は、工作機械や建機等の生産が回復せず、低調でした。海外は、中国の鉄鋼供給過剰による鋼材価格の下落と円高の影響などにより不調でした。

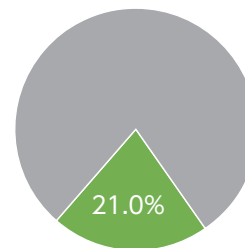
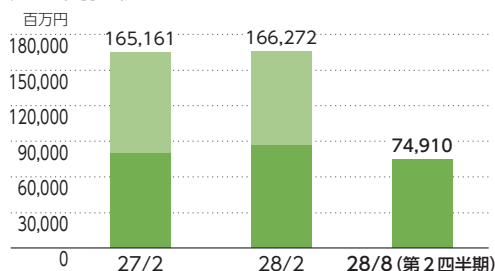
鉄鋼セグメントの売上高は、1,449億49百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門は、原材料の市況下落及び需要低迷により不調でした。

エレクトロニクス部門は、自動車関連は好調でしたが、通信機器関連は伸び悩み、微減となりました。

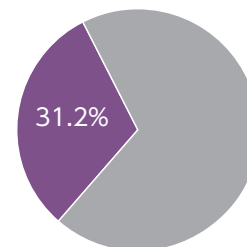
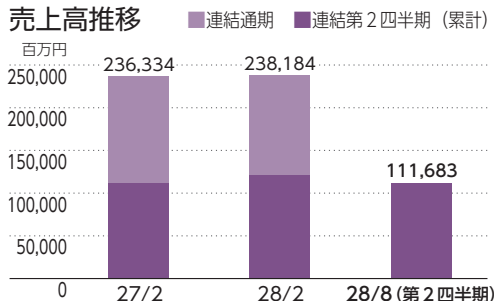
情報・電機セグメントの売上高は、749億10百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

売上高推移



化成品部門は、販売数量は伸びましたが、樹脂原料価格の下落により低調でした。

メカトロ部門は、自動車関連向け部品・工具は一部国内で堅調だったものの、設備機械は国内外共に伸び悩み低調でした。

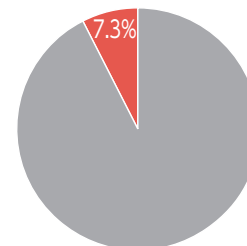
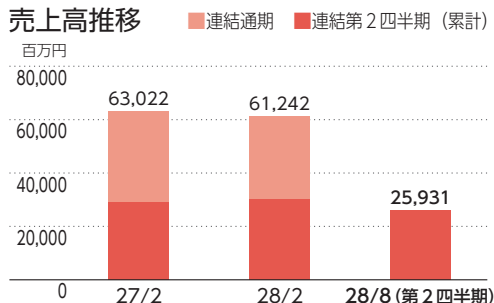
産業資材セグメントの売上高は、1,116億83百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管住設部門は、太陽光発電関連が減少、建設部門は大型設備案件減少及びマンション分譲の端境期となり減少しました。

食品部門は、水産物及び加工食品の輸入販売がいずれも不調でした。

生活産業セグメントの売上高は、259億31百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成28年2月29日現在)
資産の部		
流動資産	238,318	253,250
固定資産	169,549	164,437
有形固定資産	40,181	41,323
無形固定資産	1,291	1,363
投資その他の資産	128,076	121,751
資産合計	407,868	417,688
負債の部		
流動負債	196,320	212,049
固定負債	47,422	47,807
負債合計	243,743	259,857
純資産の部		
株主資本	112,583	107,916
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	96,110	91,443
自己株式	△ 453	△ 453
その他の包括利益累計額	43,196	41,393
その他有価証券評価差額金	46,518	41,276
繰延ヘッジ損益	52	△ 29
為替換算調整勘定	△ 2,753	950
退職給付に係る調整累計額	△ 621	△ 804
非支配株主持分	8,344	8,521
純資産合計	164,124	157,831
負債純資産合計	407,868	417,688

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成28年3月1日から 平成28年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで)
売上高	357,474	407,933
売上原価	332,449	380,382
売上総利益	25,024	27,551
販売費及び一般管理費	19,021	18,684
営業利益	6,003	8,866
営業外収益	3,216	3,553
営業外費用	888	1,079
経常利益	8,330	11,339
特別利益	18	156
特別損失	145	9
税金等調整前四半期純利益	8,204	11,487
法人税、住民税及び事業税	2,616	3,570
法人税等調整額	△ 162	△ 148
四半期純利益	5,749	8,065
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	298
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,486	7,767

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成28年3月1日から 平成28年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,152	3,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,090	△ 2,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,516	△ 839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 616	△ 7
現金及び現金同等物の増減額	△ 71	158
現金及び現金同等物の期首残高	7,191	8,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,119	8,833

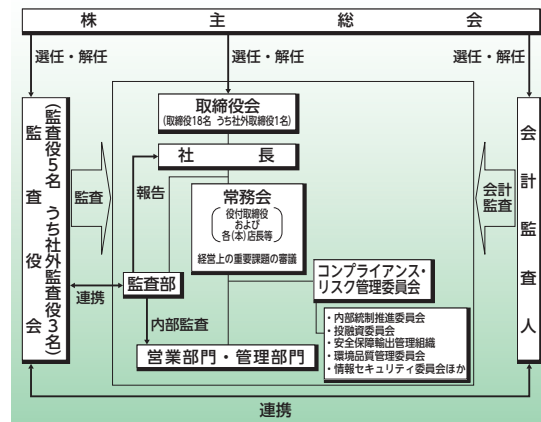
内部統制システムに関する基本的な考え方およびその整備状況

1. 基本的な考え方

企業としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けており、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

2. 整備状況（詳細は当社ホームページをご参照ください。 <http://www.okaya.co.jp/>）

- ① 取締役・使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ⑤ 当社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑥ 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項、当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項
- ⑦ 当社および子会社の取締役および使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制、報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
- ⑧ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制



利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当第2四半期末（平成28年8月期）株主優待として、8月末保有株式数200株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

なお、当期末（平成29年2月期）保有株式数100株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りします。

また、長期保有株主様向け優待として、半期毎（2月末および8月末）の株主名簿に同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件とし、当第2四半期末（平成28年8月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード1,000円相当》を、当期末（平成29年2月期）保有株式数100株以上の株主様に《図書カード2,000円相当》をお贈りします。

転居などにより、株主優待品をお届けできない場合があります。

確実にお届けするため、転居などによりご住所が変更となった株主様は、住所変更のお届出をお願いいたします。

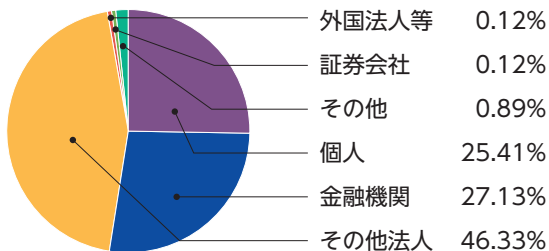
株式の状況 (平成28年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株主数	3,662 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱東京UFJ銀行	462	4.80
新日鐵住金株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	187	1.94
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.43

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (85,778株) を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

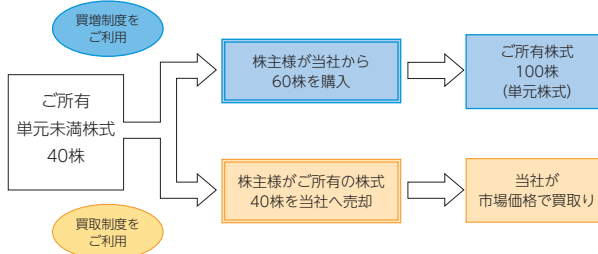
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

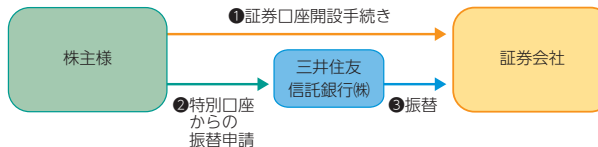
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
 中間配当 8月31日
 公告の方法 電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	口座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。